



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区長の施政方針

自己責任社会からの転換

打ち出す

来年度予算案抜粋

所得制限なく無償化したもの

- 高齢者・障害者世帯の家具転倒防止器具設置助成（67万円）：上限2万円
- 大学生への給付型奨学金（5677万円）：詳しくは裏面に。
- 中学校（特別支援学校含む）標準服（制服）（1億143万円）：2025年度小学校卒業生。公費一括購入。
- 中学校（特別支援学校含む）修学旅行費（1億3558万円）：4月～、上限7.5万円
- すまいるスクール（午後5時までの250円分）（1500万円）：4月～
- 第1子保育料（0～2歳）（8億429万円）：9月～
- 障害児通所支援等利用料（7452万円）：対象は児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、日中一時支援事業。4月～実施予定。

無償化と所得制限撤廃

2月19日、区議会予算議会が始まりました。初日に区長の施政方針が行われ、自己責任社会からの転換を打ち出しました。

森澤区長は「貯蓄がないと生きていけない社会であるにもかかわらず、所得が増えず、貯蓄も出来ず、将来の見通しが立たない。旧来の自己責任の社会モデルから転換し、あらゆる人々の生活を保

障し、将来の不安を取り除く新しい社会モデルを示すことが求められている」と述べ、「誰もが必要とする行政サービスならば、誰もが同じように受けられるようにする。お金（税金）をサービスに置き換え、全ての人が権利として、他者と区別されずにサービスを使える社会に変えていく」ことを理由に無償化と所得制限撤廃の必要性を説きました。これはこれまでの区政からの転換です。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、39歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

共産党だけ提案も計上

予算案にはこれまで共産党だけが求めてきたものが、多数盛り込まれています（左図）。

私が選挙で訴えた大学生への給付型奨学金は、議会でも繰り返し取り上げてきました。区内

の大学生からも学費が心配と2度請願署名が出され、実現を求めました。それがついに予算に盛り込まれたのです。

ほかにも身近な地域への地域

包括支援センターの設置に向け検討するものや高齢者の補聴器購入費助成の増額、入院時紙おむつ支給代の所得制限撤廃なども盛り込まれました。

また、

区政が変わり始めています。住民要望をお寄せ下さい。

区民の願いを予算に計上

ほかにも障害児の保護者が要望した「18歳の壁」の解消へ、

施設の時間延長を支援するものや、肢体不自由児者父母の会が要望した介護タクシーの予約料

や迎車代等の支援も盛り込まれ

ました。

※18歳の壁：障害児が高校卒業後に通う施設がない等で、保護者が退職せざるを得ないこと。

一方で、住民を追い出し、くらしを壊す再開発の予算もついています。区長はこれまで会わ

なかった反対する区民と昨年末に懇談しました。ここでも変わ

り始めています。超高層再開発

ストップの声も広げましょう。

来年度予算案抜粋

●大学生への給付型奨学金の創設（5677万円）

・区内在住の2025年度大学入学予定の100人。1人あたり年額54万円。医療系（医・歯・薬・看護学）、理工農系（理・工・農学）が対象

●地域包括支援センター（高齢者の健康や生活、保健医療、福祉の増進に必要な援助や支援を地域で包括的に担う機関）のあり方検討を実施（330万円）

・学識経験者などの協議会や関係各課による検討会を実施。ニーズ調査などを外部コンサルに委託。2025～26年度に検討、モデル実施を2027年4月開始予定。

●高齢者補聴器購入費助成の拡大（3022万円）

・2025年4月1日から助成上限額を72,450円に引き上げ。通年で耳の聞こえに関する講話・相談会を実施。

●紙おむつ利用高齢者への支援充実（1億2161万円）

・入院時紙おむつ代助成の所得制限撤廃と6000円に増額。

・在宅者も月1回配送の助成額を6000円に増額。

無料
法律相談

3月18日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。

できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから